

更年期障害

<1>どんな病気なの？

英語ではMenopausal Syndromeといい、月経(Mense)が止まる(Pause)事により生じる症候群(Syndrome)です。

したがって、月経が順調に来ている女性には、あてはまりません。

<2>症状

「のぼせ」「ほてい」「腰や手足が冷える」などの血管運動神経症状と「興奮しやすい」「イライラする」「神経質になる」などの精神・神経症状が見られます。

これらは卵巣機能低下によるものと、心因性によるものが原因です。

<3>診断及び除外診断

- *卵巣機能検査として血中のエストラジオール(E₂)と卵巣刺激ホルモン(FSH)の量を調べます。
- *卵巣機能に異常がない場合、他の病気が原因でないかを調べます。特に橋本病が重要です。

	橋本病（甲状腺機能低下症）	更年期障害
似ている症状	疲れやすい どうき うつ症状 寒さに敏感 脱毛 認知症（ボケ症状） 皮膚の乾燥	全身倦怠感 どうき ゆううつ 手足の冷え 毛髪量の減少 記憶力の低下 皮膚の乾燥／萎縮
異なる症状	発汗減少 傾眠がち 舌肥大 かすれ声 便秘 全身のむくみ	のぼせ、発汗 不眠がち、イライラ のどのつかえる感じ おなかのはる感じ 関節痛、肩こり 神経痛、手足のしびれ

- *高脂血症(血中コレステロールや中性脂肪の高値)がみられる場合

次のような病気が原因ではないかを調べます。

二次性高脂血症をひきおこす病気

糖尿病	閉塞性黄疸
橋本病	原発性胆汁性肝硬変
カッシング症候群	神経性食欲不振症
ネフローゼ症候群	リポジストロフィー
慢性腎不全	モノクローナルガンモパチー

- *うつ病が疑われる場合は、専門医へ紹介します。
- *十分な除外診断をしないと、「更年期障害」と誤診され
たために正しい治療を受ける機会を失うという事にも
ないかねません。

<4>治療

*ホルモン補充療法

血管運動神経症状が主体の場合は効果がありますが、
精神・神経症状(うつ状態、不安感)や冷えなどが主体の
場合は、あまり効かない事が多いようです。

*漢方薬

閉経前の不定愁訴の強い場合や、ホルモン補充療法を
望まない場合に使用されます。

- *患者さんの家族的・社会的背景を含めた精神的なケア
にも配慮します。